



学校だより

令和8年1月8日 1月号 岩国市立岩国小学校



2026年を迎えて



明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様には、明るく希望にあふれる新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年も本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。午（うま）は勢いよく駆ける姿から、「前進」「行動力」を象徴し、丙（ひのえ）は陽の火で「情熱」「挑戦」を意味します。

また、馬にまつわることわざも多くあります。「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」という言葉は、実際に体験してみなければ本当のよさや難しさは分からぬという意味です。「駿馬も一躊躇（ちよ）き」という言葉は、どんなに優れた人でも失敗することがあるという教えです。これらの言葉は、子どもたちの学びにも通じます。挑戦すること、失敗から学ぶこと、その積み重ねが成長につながります。

この一年も、子どもたちが失敗を恐れず、挑戦する気持ちを大切にしながら、仲間とともに学び合う姿を応援していきます。

3学期は、一年の中で一番短い学期ですが、「一年をまとめ、次の学年へつなぐ大切な学期」でもあります。教職員一同頑張って参りますので、御支援と御協力をよろしくお願いします。

熟議開催「ふわふわ言葉を広げるために」

12月5日、学校運営協議会委員、保護者や地域の方、そして、児童生徒による熟議を開催しました。熟議とは、対話を通じて理解を深め、全員が納得できる方向を探る話し合いで、本校のチャレンジ目標の一つである「ふわふわ言葉」について、協議を行いました。

ふわふわ言葉は、相手を思いやる優しい言葉のことと、その対義語として使われるのが、ちくちく言葉（相手を傷付ける言葉）です。

子どもたちに限らず、大人の間でも、言葉が原因となり、トラブルにつながることがあります。また、ちょっととしたからかいや冗談のつもりの言葉でも、受け取る側にとっては深く傷付くことがあります。こうした言葉の積み重ねが、仲間外れや無視、さらには深刻ないじめに発展することもあります。

これまでも言葉の大切さについては子どもたちに伝えてきましたが、御家庭でも、以下のような点に御留意いただき、引き続きの御協力をお願いします。

○ ポジティブな言葉を意識する。

「できない」より「やってみよう」など、前向きな表現を使うことで、モチベーションや安心感が高まります。

○ 敬意をもった言葉遣い

「ありがとう」「ごめんね」をきちんという習慣をもつと、信頼関係が深まります。

○ 感情的な言葉を避ける。

感情を伝えるときには、「私はこう感じている」というメッセージで話すと攻撃的になりにくいうえです。

